

## 第7回「寿都町対話の場」開催（2月16日）

- (1) 第3、第4の文献調査候補地に手を挙げてもらえるよう、国が前面に立って取り組んで欲しいとの意見が出されました。
- (2) 青森県六ヶ所村の地域住民との交流は、施設誘致からの経緯をご存じの方からお話を伺う方向で、取り組んでいくことになりました。
- (3) 「放射線の基礎知識」について、専門家にお話しいただきました。

### 国が前面に立って第3、第4の文献調査候補地の開拓を

#### 【会員からのご意見】

地層処分事業（文献調査）に町民の目や耳を向けてもらうためには、寿都町や神恵内村の他にも、全国のどこかで文献調査に手を挙げてくれることが必要。

そうならば、町民も安心できるだろうし、議論もさらに活発になり、国民的な議論となっていくだろう。

そのためには、国が前面に立って、第3、第4の候補地の開拓に努めていただきたい。本件について町長、国、NUMOの想いを聞かせて欲しい。



片岡町長

より良い勉強の仕方や住民の理解が深まっていく状況が全国に発信され、文献調査に応募する「仲間」が増えていけば、一石を投じた意味がある。それには町民が自然体で勉強している姿を全国に発信していくことが必要。



経済産業省 資源エネルギー庁  
電力・ガス事業部  
放射性廃棄物対策課 下堀課長

第3、第4の地域での文献調査の開始に向け、しっかりと取り組むことは国としても重要と考えている。全国での説明会や個別の自治体とも相談を進める中、関心を持つ方々も増えてきている。例えば、長崎県対馬市の商工会や福井県嶺南地域の地方議会議員などが勉強会等を実施する姿が報道もされている。

引き続き、国が前面に立ち、文献調査に手を挙げていただける地域が出てくるよう、しっかりと取り組んでいきたい。



NUMO  
伊藤理事

全国各地で開催の対話型説明会などにおいて、「原子力発電で起こした電気を使ってきた一人ひとりがこの問題に向き合い関心を高めてもらいたい」、「ぜひ多くの自治体に文献調査を受け入れていただくよう取り組む」と強調している。NUMOは体制を強化し、対話活動を全国に広げていくため、組織を挙げて取り組んでいく。

### 青森県六ヶ所村の地域住民との交流は、施設誘致からの経緯を知る方などから

「核燃料サイクル施設誘致から現在に至るまでの背景や経緯について、まずは、当時の事情、背景や経緯をよくご存じの方から話を聞くのはどうか」と事務局から提案し、その実現に向けて、前向きに調整していくことになりました。

# 「放射線の基礎知識」について、放射線の測定実験を交えながら、お話しいただきました。



＜講師＞飯塚 裕幸（いづか ひろゆき）先生

東京大学 工学系・情報理工学系等環境安全管理室 特任専門員

【参考】YouTube「エネ百科」において、放射線に関する動画を多数寄稿

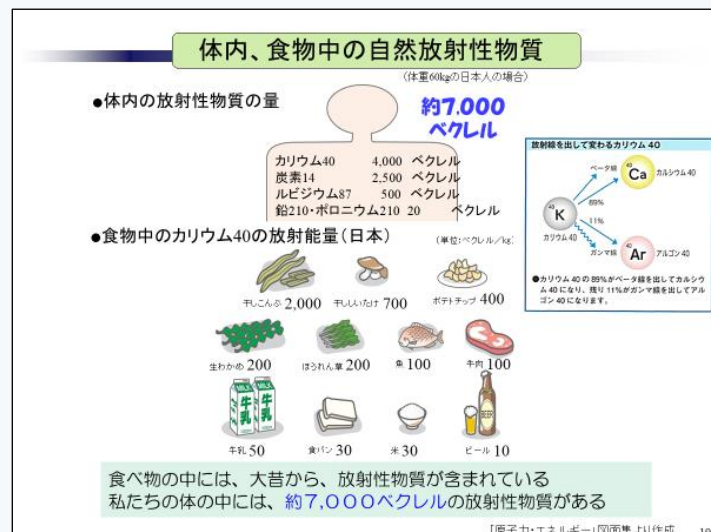
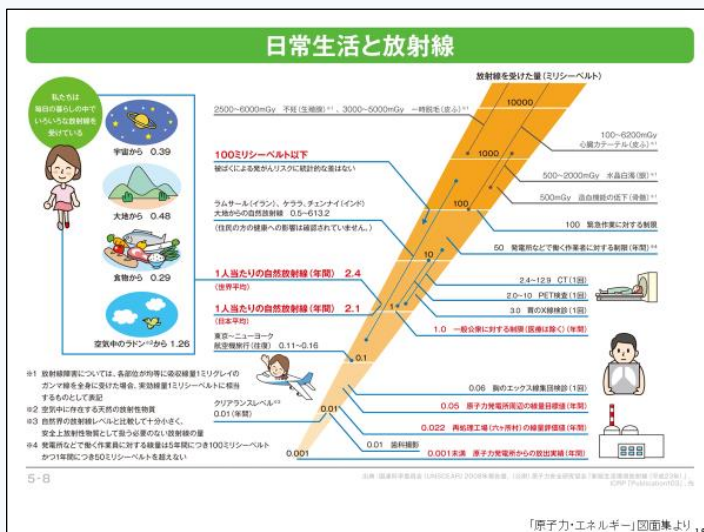


## 【説明のポイント】

- わたしたちは毎日の暮らしの中で、食物や宇宙、大地をはじめ、病院での胸部X線検査など、身近なものから放射線を受けている。
- わたしたちの体の中にも、放射性物質が存在している。
- 放射線のリスクを考える場合、被ばくの有無ではなく、被ばく量に着目することが大事。

## ＜説明資料の一部をご紹介します＞

※説明資料は、NUMO寿都交流センターにございますので、ご希望の方はお気軽にお問い合わせください。



## 【実験の様子】



花こう岩の放射線量の測定



はかるくん  
放射線を測定する  
機器



きり箱で放射線が通った跡を見る実験



きり箱  
放射線が通った跡  
を検出する装置

## 【会員からのご意見】

- ・ 本当にわかりやすく良かった、このような話を町民の方にぜひ聞いてもらいたい。
- ・ このような基礎知識が一番大事だと思う。このような噛み砕いたものを町民に勉強していただくことが大切。

「対話の場」における配付資料や映像などは、NUMOホームページおよびNUMO寿都交流センターでご覧いただけます。また、記録したDVDもご用意しますので、ご希望の方はお気軽に、寿都町対話の場事務局（NUMO寿都交流センター）までお問い合わせください。



原子力発電環境整備機構(NUMO)  
<https://www.numo.or.jp>

■NUMO トップページから、以下の順にクリックしてください。  
「文献調査の状況」→「文献調査実施中の地域」→「寿都町」→  
「これまでの経緯」→「2022年2月16日 対話の場（第7回）を開催」

NUMOホームページはこちら

NUMO

検索

お問い合わせ先：原子力発電環境整備機構 NUMO寿都交流センター E-mail：suttu@numo.or.jp

〒048-0401 寿都町字新栄町113-1 (TEL)0136-75-7576 (FAX)050-3512-1728

(開館時間：平日10時～17時)